

●台風10号本土縦断 大型で強大な台風が接近し日本全土に影響が及ぶと指摘されていました。8月15日お盆直撃で、帰省ラッシュで航空機や新幹線の運休決行が続きました。台風が通過した後も雨雲がかかりました。中2日あれば木津川の増水も魚とりが出来るところまで水位が低くなるのではないかと大きな期待をしていました。ライフジャケットは16日の受け取りでしたが、15日の午前中に枚方のセンターから借用を済ませておきました。午後には藤田カヌーとの連携を取り当日は水位が下がる可能性もあるので、準備体制をとっていただきました。イベント直前の台風にはずいぶんと神経を使うものです。

●京都府子どもの水辺交流会 さくら出会い館 18日

案内チラシは7月10日過ぎに「親子で遊ぼう学ぼう魚とり」のチラシの裏面に小さめに記載しておきました。カヌーと魚とりなどについても少しばかりの説明でした。それでも問い合わせがあり19家族57人の申し込みがあって、募集枠の50人を超え、募集を締切りという事態になりました。それでも当日には数件の押しかけ参加があって、なんと77人の大舞台になりました。大変な人気イベントでした。前日には各参加者にカヌー体験と魚とりは水位が上昇しているので、中止とする旨の連絡を行いました。大きな期待をされていたので、「それでは今回は欠席する」との返事が数件届きました。それでも66人の参加となりました。

しかし「参加してくる子どもたちをがっかりさせるわけにはいかない」と、福井波恵レンジャーアドバイザーが台風前や前日に木津川など増水している川をめぐって、たくさんの小魚を採取していただきました。それを交流会当日会場で広げて、魚の仕分け・名前合わせを実施していただきました。魚とりは出来ないと思っていた子どもたちも大人も、思わぬ取組に大喜びで目の色を輝かせて、懸命に仕分けをしました。北野大輔君や大釜智光さん、福井波恵さんなどがそれぞれ子供たちが尋ねてくる魚について、ひとつひとつ丁寧に同定をし、教えました。あつという間の1時間でした。熱中症が心配しなければならない屋外の取組みでしたが幸い簡易テントを6張り準備できたので、暑さ対策では一安心でした。

ところがセンターの職員から、このテントの設置は申請していないと厳しい指摘がありました。また、大研修室から広場に出るドアは開けると壁が落ちるからこのドアの開閉は出来ないということでした。開けられないドアならもっと有効利用のできるようにすべきです。しゃくし定規に開けないとはとんでもないことです。それを当然のごとく言い放つ職員の感覚もどこか狂っているように見えました。これだけ暑さ対策の必要性が叫ばれているとき、特に小学生の低学年の児童が集まって学習をしようとしている取組に、こちらも開けましょうかといって対応してくれるのが当然だと思いますが、正反対の対応には非常に驚きました。

11時から植物班と昆虫班に分かれて、さくら堤を歩いての自然観察会でした。植物班は河川レンジャー1年目の山村元秀さんが、事前に調査し写真撮影した資料を使って出会う植物の詳しい解説を行っていただき、植物に関心を持てるようになれそうという感想がありました。昆虫班は里山の会の昆虫部世話人の金田徹さんがガイドしていただきました。金田さんは地元八幡市の住民でさくら堤は隅から隅まで知っておられる方で、短時間で急所を抑えた解説をしていただきました。いっぱい知らないことがわかって楽しかったという評判でした。午後からのプログラム一番目は展望台に上って360度周囲の解説がされました。愛宕山比叡山、天王山男山 裏に生

駒山、そして巨椋池の成り立ちや三川合流部の解説を仁枝さんと金田さんが行いました。13時30分から本日のメインイベントである水辺の活動について発表が4組からありました。上粕川でのジャンボタニシ駆除活動、桂川での魚観察の発表をきれいなポスターに書き表し、すごい調査を重ねた発表でした。続いて木津川や里山での自然観察調査の発表が大人顔負けの解説で行われ驚かされました。最後は沖縄での生き物調査を自分が撮影した写真で、丁寧に解説されました。4人の発表はいずれも自分の体験調査に基づいて行われており、質問への回答にも自分の言葉で、自信をもって返答されていたことがすごいものと思いました。発表を聞いた子どもたちも保護者の皆さんも、大変多くのことを学べた非常に素晴らしい内容でした。

この取り組みは台風10号に振り回された感じがありました。スタッフのみなさんからは準備不足が大きかったと反省が届いています。それを補っても余りある、素晴らしい取り組みでした。困難な中準備を整えていただいた17人のスタッフの皆さんのご奮闘に感謝して閉会となりました。

第13回

上狛川クリーン作戦

= ジャンボタニシ駆除と清掃

水質と生き物調査 =

9月8日(日) 9:00~11:30



2007 年初めて上狛川のジャンボタニシ駆除を「上狛川を美しくする会」を中心として 10 数名で始め、2009 年には上狛東部農地水環境保全会・木津川河川レンジャーも加わり多くの親子も参加してジャンボタニシと雑草の駆除・魚調査・ゴミ拾いを多くの参加者とできるようになってきました。また、以前から行われていた水質調査も一緒にするようになり、上狛川の環境の変化を科学的に明らかにできるようになりました。

一方、ジャンボタニシ防除剤「スクミノン」の散布で田の中のジャンボタニシと上狛環濠水路での繁殖の激減という成果も出てきました。上狛川地域住民の皆様の努力の成果が出てきています。しかし、「スクミノン」の利用・ジャンボタニシ駆除が進んでいない地域、上狛川の下流では、護岸に赤い卵がびっしりと付いている場所が見られます。

下水道の完備により水質改善も見られるようになった一方水量が少なくなっている問題があります。歴史的な環濠水路・美しい上狛川を取り戻すために一緒に考えていきませんか。

- ＜内容＞
1. 子どもの発表
 2. ジャンボタニシと卵の駆除、清掃、生き物調査。
 3. 上狛川の水質調査
上狛川数地点をバックテスト(COD 高濃度用)で実施。



2016/9 ジャンボタニシと卵の駆除



2017/9 生き物調査



2018/9 水質調査

＜開 始＞ 午前9時(受付8時40分から) JA 京都やましろ (農協) 裏面に地図

小雨決行 (中止の確認は、当日午前8時以降に 080-5330-7278 福井、090-8385-8726 山田まで)

＜持 ち 物＞ 帽子 手袋 長靴 雨具 水筒 魚とりの道具(網など) スコップ

※ 魚とりの道具(網など)・・・幾分かは準備してあります。

※ タニシの卵をかき落とす道具は準備しています。

＜注意事項＞ 小学生以下は保護者同伴

＜申し込み方法＞ 裏面の申込書にご記入の上、FAX送信して下さい。

＜問合せ先＞ 木津川管内河川レンジャー

福井波恵 080-5330-7278 山田信人 090-8385-8726

中西加代 090-8196-0936 大釜智光 080-2513-7329



主催：上狛川を美しくする会、木津川管内河川レンジャー
 協賛：上狛東部農地・水・環境保全会
 協賛：国土交通省近畿地方整備局木津川河川事務所、
 協賛：やましろ里山の会